



# 決算説明資料

## 2023年3月期 Q2決算 (22/4-22/9)

---

2022年10月31日

## Vision

- 持続的(**Sustainable**) 成長を目指し、すべてのステークホルダーに価値を創造する
- あらゆる環境変化に適応する強靱な(**Resilient**)組織を作る

## 事業ポートフォリオ

デジタルソリューション (特に**半導体材料**)、  
**ライフサイエンス**がコア事業



Digital  
Solutions



Life Sciences

- ・SEMI: 市場成長を上回る成長。M&Aを含めた事業拡大。
- ・DISPLAY: 事業最適化と利益成長への移行。

- ・売上高 1,000億円超、ROS 20%を達成。
- ・グループ全体のシナジー強化により持続的成長を実現。

## 事業目標

ROE

**10%**以上

Core OP

**最高益の更新**

600億円以上

デジタルソリューションおよびライフサイエンス

## 組織体制

**強靱な(Resilient)  
経営基盤**

イノベーション  
デジタル化  
ESGコミットメント  
従業員エンゲージメント

# 中期経営方針－進捗



## 進捗

### ビジョン

- **事業変革**：22年4月1日に当社祖業であるエラストマー事業譲渡を完了。半導体材料と事業への戦略的投資を強化。短期的な事業運営をマネージしつつ、持続的成長の基盤となる次世代分野への取り組み、Dxへの投資等を推進中。
- **順調な中計見通し**：FY24の過去最高益600億円を更新する目標は、前倒し達成する見通しに変更なし。
- **資本配分**：増配と自社株買いを実施済み。昨年度のInpria買収は当社の先端リソグラフィー分野における技術ロードマップを強化。資本配分方針に変更なし。今後も株主還元策を進めていく。

### <事業戦略>

#### デジタルソリューション事業 (DS)

- 半導体材料はEUVを中心に、高付加価値な幅広い製品群によるトップライン成長が継続。
- MOR\*の市場展開を顧客、関連業界とともに推進。ロジック、メモリー双方において確実な進捗が得られている。
- 先端リソグラフィー材料の量産工場が来年稼働。台湾、中国、韓国等での営業・技サ体制の増強を実施。これら投資により将来の成長基盤の確保と収益性拡大を実現させる。
- ディスプレイ材料は拠点の統廃合と最適化とにより、短期市況に耐えうる事業構造を構築。OLED等新材料の展開に注力。

#### ライフサイエンス事業 (LS)

- 売上高1,000億円はFY22に達成見込み。短期的なオペレーション課題を改善させ、ROS20%の達成見通しに変更なし。
- 強い売上成長は継続見通し。同時にオペレーション強化によるマージン改善に注力。
- Similis Bio等の新事業、新Modality等投資機会も積極的に探索中。

#### 合成樹脂事業

- 特殊ABS分野への注力で中期的には安定した収益性の事業体制を確保済。

# 決算のポイント

## <2023年3月期第2四半期実績>

- ・Q2 は、コア営業利益107億円となり、QoQ増収増益。
- ・堅調な需要環境及びQ1の中国物流停滞、出荷ずれ等の解消により半導体材料が大幅に伸長した。
- ・ライフサイエンス、合成樹脂もQoQで増収増益を確保。ディスプレイ材料、エッジコンピューティングは顧客業界の稼働調整の影響を受け減収減益。
- ・Q2累計では、半導体材料は増収増益を達成するも、需要の悪化によるディスプレイ材料、エッジコンピューティング、合成樹脂の減益及びライフサイエンスの先行投資の増加により、全体では増収減益となった。

## <デジタルソリューション事業>

- ・半導体材料は強い売上成長となった。特にEUVはQ2累計でYoY+60%、QoQ+55%と大幅な増収。需要全般は堅調、半導体メーカーの先端分野への取り組みは旺盛に継続。
- ・ディスプレイ材料は市況の低迷により5月以降LCDパネルメーカーの稼働調整が発生、Q2に大幅に稼働が落ち込み、当社の販売も減少した。エッジコンピューティングも主にスマホ業界の生産調整の影響を受けた。

## <ライフサイエンス事業>

- ・YoY+53%と強い売上成長を達成。各セグメントとも競争力ある製品と強い需要環境で売上収益を拡大した。利益はCDMOの先行投資拡大により減益。
- ・IVDの抗原検査キットがCOVID-19の感染リスク拡大を受けて伸長した。CROもPDxモデルを背景に順調に売上拡大。
- ・CDMOも売上は大きく拡大、パイプラインも堅調。KBIは新工場の商業生産拡大に向け生産レベルを順次引き上げ中。

## <合成樹脂事業>

- ・自動車生産の減少による販売減によりYoYは減収減益。QoQは売買スプレッド改善により増収増益。

# 決算ハイライト – YoY, QoQ

		21H1	22H1	YoY	22Q1	22Q2	QoQ
連結	売上収益	1,682	1,973	+17%	933	1,040	+11%
	コア営業利益	231	169	-27%	62	107	+71%
	営業利益	229	177	-23%	73	104	+43%
	親会社所有者帰属利益	175	148	-16%	57	90	+57%
デジタルソリューション	売上収益	806	906	+12%	429	477	+11%
	コア営業利益	196	185	-6%	77	108	+42%
ライフサイエンス	売上収益	337	515	+53%	227	287	+26%
	コア営業利益	19	7	-64%	0	7	+2,030%
合成樹脂	売上収益	478	456	-4%	228	229	+0%
	コア営業利益	35	-1	-	-5	4	-
その他・調整額	売上収益	61	96	+56%	49	47	-3%
	コア営業利益	-19	-22	-	-10	-12	-
Exchange rate (USD/JPY)		110	134	+22%	130	138	+7%

(億円)

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

## YoY : 増収減益

デジタルソリューション：ディスプレイ市況悪化による減収あるも、半導体材料の販売増、円安の恩恵により増収。

半導体材料は増益となるも、ディスプレイ材料、エッジコンピューティングの減収によりYoYは減益。

ライフサイエンス：CDMO, CRO, IVDの売上収益が大幅に拡大するも、CDMOの先行投資により減益となった。

合成樹脂：自動車減産による数量減及び原料高騰により減収減益。

## QoQ : 増収増益

デジタルソリューション：ディスプレイ材料の減収影響あるも、先端リソグラフィ材料の販売増および前Qの出荷ずれ等の反動により増収、増益。

ライフサイエンス：IVDの好調等により増収増益。

合成樹脂：売買スプレッド改善により増収増益。

# 決算ハイライトー実績 vs 計画（変更なし）

<2022年8月1日改定値>

		FY21 Act	22Q1 Act	22Q2 Act	22H1 Act ①	FY22 Pro ②	ref. ②-①
連結	売上収益	3,410	933	1,040	1,973	4,205	2,232
	コア営業利益	433	62	107	169	550	381
	営業利益	438	73	104	177	560	383
	親会社所有者帰属利益	373	57	90	148	435	287
デジタルソリューション	売上収益	1,650	429	477	906	1,875	969
	半導体材料	1,103	305	377	682	1,370	688
	ディスプレイ材料	459	104	80	184	410	226
	エッジコンピューティング	88	20	20	40	95	55
	コア営業利益	390	77	108	185	465	280
	(Inpria評価益、米国洗浄剤工場減損除くコア営業利益)	354	—	—	—	—	—
ライフサイエンス	売上収益	725	227	287	515	1,200	685
	コア営業利益	32	0	7	7	90	83
合成樹脂	売上収益	906	228	229	456	1,050	594
	コア営業利益	53	-5	4	-1	55	56
その他・調整額	売上収益	129	49	47	96	80	-16
	コア営業利益	-42	-10	-12	-22	-60	-38
Exchange rate (USD/JPY)		112	130	138	134	135	136

\*為替前提：2022年8月1日公表のFY22Proの為替は足元の想定レートを使用。

為替感応度は1円円安で5億円程度の影響を見込む。減価償却、資本的支出、研究開発費は期初想定為替のままとした。

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

# 経営環境 上期総括および今後の見通し



事業	対計画	上期	対上期	下期見通し
半導体材料	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部に減速あるものの半導体全体では需要堅調</li> <li>EUVが好調に進捗</li> </ul>	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要は一部を除き堅調。</li> <li>来年前半の市場軟化の可能性を注視。円安は恩恵あり。</li> <li>先端口ジック、メモリー向けEUVの販売拡大、MOR*の市場展開の拡大を見込む。</li> <li>原料・輸送コスト上昇への改善策を進める。</li> </ul>
ディスプレイ材料	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>Q2の顧客稼働は大幅な下落となった。</li> <li>稼働調整は9月に下げ止まった。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客稼働調整は長期化はしないが、回復のスピード感 は需要状況による。</li> <li>コスト効率化を進める。シェアアップ、OLED材料の強化。</li> </ul>
エッジコンピューティング	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマホ出荷台数が大幅減。アジアのモジュールメーカーにて稼働調整が行われた。</li> </ul>	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマホ市場は低調に推移する見通し。</li> <li>シェアアップは下期の売上増に貢献する見通し。</li> </ul>
ライフサイエンス事業	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサイエンス全体の需要は堅調</li> <li>IVD(COVID-19向け抗原検査キット)の需要増</li> </ul>	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオ業界全体での需要は堅調。</li> <li>当社のトップラインも強い成長を継続見通し。</li> <li>IVDは今年度後半から来年度にかけて需要大幅増を見込む。</li> <li>KBIは来期利益貢献に向け新工場の立上げに注力。</li> </ul>
合成樹脂	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産は回復がみられたが、想定よりも遅れた。</li> </ul>	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産の回復が継続する見通し</li> <li>価格改定フォーミュラによるスプレッドの改善を見込む。</li> </ul>
その他	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出を想定以下に抑制。</li> </ul>	↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き優先順位を見極め抑制を図る。</li> </ul>

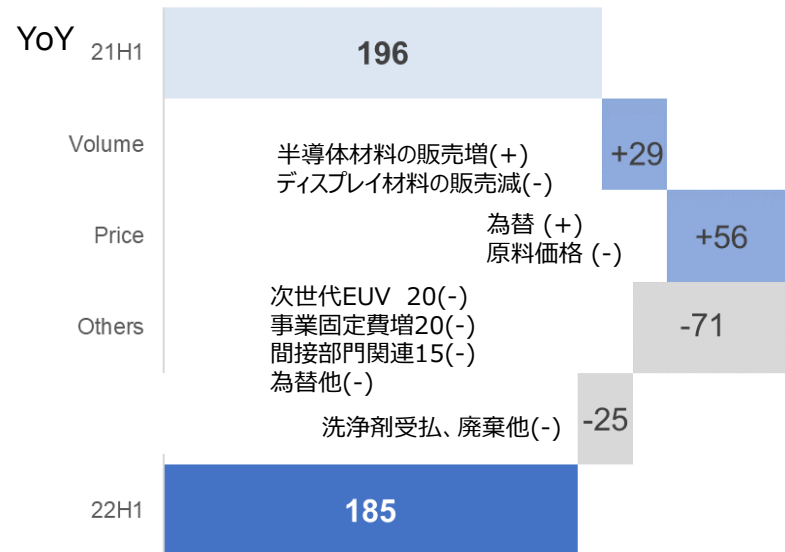
\*MOR:メタルオキシサイドレジスト

# セグメント別損益：デジタルソリューション事業

(億円)

	21H1	22H1	YoY	22Q1	22Q2	QoQ
売上収益	806	906	+12%	429	477	+11%
半導体材料	528	682	+29%	305	377	+24%
ディスプレイ材料	236	184	-22%	104	80	-23%
エッジコンピューティング	42	40	-4%	20	20	-2%
コア営業利益	196	185	-6%	77	108	+42%
コア営業利益率	24.3%	20.4%		17.8%	22.7%	
Exchange rate (USD/JPY)	110	134	+22%	130	138	+7%

## コア営業利益差異分析(億円)





# Appendix : DS事業 主要製品売上推移



SEMI	YoY ytd	QoQ
EUV	+60%強	+55%程度
ArF	+30%程度	+15%程度
多層材料	+20%強	+25%程度
その他リソグラフィ材料	+30%弱	+15%程度
CMP材料	+30%程度	+15%弱
洗浄剤	+90%程度	+70%程度
実装材料	+10%程度	+5%弱

Display	YoY ytd	QoQ
配向膜	-20%程度	-30%程度
絶縁膜	-10%程度	-30%程度
着色レジスト	-70%程度	-25%弱
OLED材料	-5%程度	+40%程度

Edge	YoY ytd	QoQ
ARTON	-5%程度	-5%程度

# セグメント別損益：ライフサイエンス事業



(億円)

	21H1	22H1	YoY	22Q1	22Q2	QoQ
売上収益	337	515	+53%	227	287	+26%
コア営業利益	19	7	-64%	0	7	+2,030%
コア営業利益率	5.8%	1.4%		0.1%	2.4%	
Exchange rate (USD/JPY)	110	134	+22%	130	138	+7%

## コア営業利益差異分析

YoY

	売上収益	コア営業利益
Total	+53%	-64%
CDMO	+45%強	減益
CRO	+40%強	増益
BPM	-15%程度	減益
IVD	+105%程度	増益

QoQ

	売上収益	コア営業利益
Total	+26%	+2,030%
CDMO	+15%程度	減益
CRO	+5%程度	増益
BPM	-30%程度	減益
IVD	+95%程度	増益

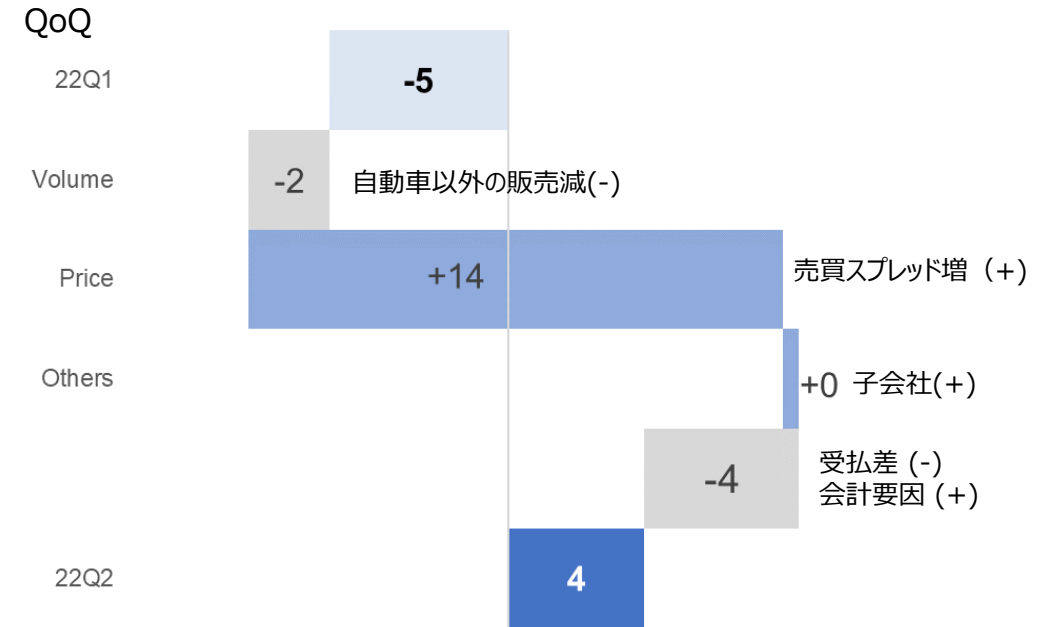
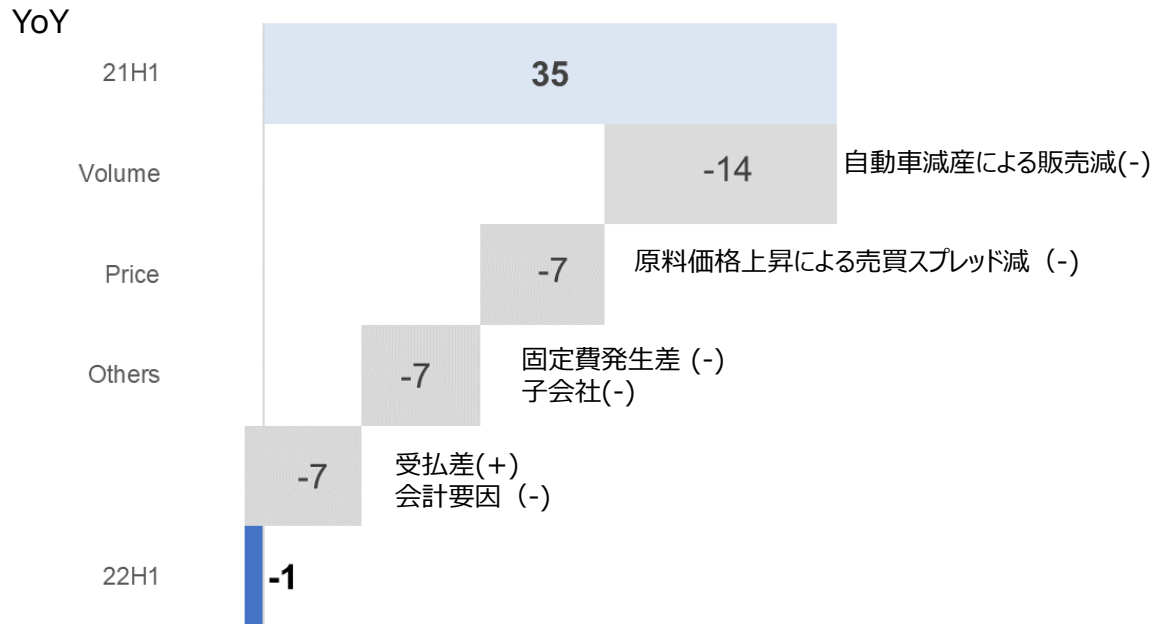
\*BPM: バイオプロセス材料

# セグメント別損益：合成樹脂事業



	21H1	22H1	YoY	22Q1	22Q2	QoQ	(億円)
売上収益	478	456	-4%	228	229	+0%	
コア営業利益	35	-1	-	-5	4	-	
コア営業利益率	7.2%	-		-	1.6%		
Exchange rate (USD/JPY)	110	134	+22%	130	138	+7%	

## コア営業利益差異分析(億円)



# 【APPENDIX】連結損益計算書



	21H1	22H1	YoY (億円)
売上収益	1,682	1,973	+17%
売上原価	1,051	1,281	+22%
売上総利益	631	692	+10%
販管費	403	526	+31%
その他の営業収益/費用	1	11	+1,358%
持分法による投資損益	0	0	+350%
営業利益	229	177	-23%
金融収支	9	50	+429%
法人所得税	65	82	+25%
継続事業からの当期利益	173	145	-16%
非継続事業からの当期利益	13	-	-
当期利益	186	145	-22%
親会社所有者帰属	175	148	-16%
非支配持分	11	-2	-

EPS(JPY)	81.60	70.32	-14%
EPS - 継続事業 (JPY)	73.80	70.32	-5%
EPS - 非継続事業 (JPY)	7.81	-	-

Exchange rate(USD/JPY)	110	134	+22%
------------------------	-----	-----	------

## コア営業利益から営業利益までの調整

(億円)

	21H1	22H1
コア営業利益	231	169
減損損失戻入	12	-
事業構造改革費用	-	0
固定資産売却損	-	-2
子会社出資金評価損	-14	-
子会社株式売却益	-	10
その他	0	0
営業利益	229	177

# 連結財政状態計算書



	22/3E	22/9E	+/- (億円)
<b>流動資産</b>	4,370	3,054	-1,316
現金及び現金同等物	456	746	+291
営業債権及びその他の債権	761	898	+137
棚卸資産	1,049	1,170	+121
その他	191	239	+48
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産	1,913	-	-1,913
<b>非流動資産</b>	3,724	4,045	+321
有形固定資産	1,595	1,714	+118
のれん	1,176	1,374	+198
その他の無形資産	246	268	+22
その他	706	689	-17
<b>資産 合計</b>	8,094	7,099	-995
<b>流動負債</b>	2,883	1,765	-1,118
営業債務及びその他の債務	635	698	+62
社債及び借入金	692	673	-18
その他	400	393	-6
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	1,156	-	-1,156
<b>非流動負債</b>	1,064	1,307	+243
社債及び借入金	487	732	+245
その他	576	575	-2
<b>負債 合計</b>	3,946	3,071	-875
親会社の所有者に帰属する持分	3,760	3,778	+18
非支配持分	387	250	-138
<b>資本 合計</b>	4,147	4,027	-120

※継続、非継続両事業を表示

## 22年度上期の資本政策TOPICS

- ・約300億円の自社株買いを実施。
- ・約1,773万株の自己株式を消却。  
(消却前の発行済株式の総数に対する割合；8%)
- ・約75億円の配当金支払（FY21に増配）。
- ・約250億円の社債発行。
- ・約500億円の事業譲渡関連収入。
- ・資本的支出、等。

	FY21 Act.	FY22 H1 Act.	FY22 Pro.
資本的支出	419	140	360
減価償却費	194	125	235
研究開発費	241	114	255

\*\*IFRS16号によるリース資産償却を含みます。\*\*FY21は継続事業のみ表示。  
\*減価償却、資本的支出、研究開発費は期初想定為替のまま。

### Net Debt

(現金及び現金同等物 - 有利子負債)  
2022/3 E : 約720億円  
2022/9 E : 約660億円

### 自己資本比率

(親会社所有者持分比率)  
2022/3 E : 46.5%  
2022/9 E : 53.2%

# 【APPENDIX】四半期推移



(億円)

		21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	22Q1	22Q2
連結	売上収益	823	859	884	844	933	1,040
	コア営業利益	126	105	192	10	62	107
	営業利益	111	117	192	17	73	104
	親会社所有者帰属利益	82	94	178	19	57	90
デジタルソリューション	売上収益	393	413	427	417	429	477
	コア営業利益	104	91	167	27	77	108
ライフサイエンス	売上収益	163	174	196	191	227	287
	コア営業利益	12	8	19	-7	0	7
合成樹脂	売上収益	238	240	229	199	228	229
	コア営業利益	19	16	16	3	-5	4
その他・調整額	売上収益	29	32	32	36	49	47
	コア営業利益	-9	-10	-10	-13	-10	-12

Exchange rate (USD/JPY)	109	110	114	116	130	138
-------------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

FY22Q3  
決算発表

2023年2月6日

同日、金融機関向け説明会を実施予定

・本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。  
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。